

環境保全活動（エコオフィス計画）の実績

1 対象範囲（施設）

- (1) 市長部局：本庁舎（教育委員会の8課含む）、新都心銘苅庁舎、首里支所、真和志支所、小祿支所、クリーン推進課事務室、那覇市民会館、歴史博物館、焼物博物館、公立保育所9所
- (2) 教育委員会：教育研究所、教育相談課、各学校給食センター、各図書館・公民館、小学校36校、中学校17校
- (3) 上下水道局：上下水道局庁舎、古波蔵雨水ポンプ場
- (4) 消防：中央消防署、西消防署、松尾出張所、安謝出張所、小祿出張所、真和志出張所、首里出張所、国場出張所

2 削減目標及び削減率（H21は基準年度）

| 項目 部局名 | 温室効果ガス (t-CO2) | 温室効果ガス算定基礎項目 | | | | | | | その他の資源等 | | | |
|-----------|-------------------|--------------|------------|---------|-----------------------|-----------|---------|---------|--------------------|---------|-----------|---------|
| | | 電気 (kwh) | ガソリン(ℓ) | 軽油(ℓ) | 都市ガス(m ³) | LPGガス(kg) | 灯油(ℓ) | A重油(ℓ) | 水(m ³) | 紙(×) | ごみ(kg) | |
| 市長部局 | H26 | 6,115 | 6,556,521 | 50,566 | 41,757 | 174,135 | 4,679 | 18,296 | — | 126,342 | 37,392 | 303,938 |
| | H25 | 6,564 | 6,741,775 | 50,513 | 35,815 | 173,774 | 7,274 | 18,432 | — | 122,655 | 38,136 | 324,702 |
| | H21 | 6,913 | 6,988,032 | 68,419 | 65,350 | 9,776 | 14,495 | 33,814 | — | 120,565 | 31,607 | 527,589 |
| | 削減率 | -11.5% | -6.2% | -26.1% | -36.1% | 1681.3% | -67.7% | -45.9% | — | 4.8% | 18.3% | -42.4% |
| | 削減目標 | -18.2% | -19% | -8% | -8% | -4% | -8% | -8% | — | -5% | -5% | -5% |
| 教育委員会 | H26 | 16,701 | 17,654,692 | 16,210 | 2,750 | 250,504 | 10,201 | 164,883 | 281,709 | 470,149 | 59,348 | 575,708 |
| | H25 | 17,520 | 17,677,991 | 13,603 | 3,002 | 259,942 | 10,830 | 162,346 | 282,644 | 488,484 | 58,352 | 676,344 |
| | H21 | 17,279 | 16,435,786 | 13,278 | 4,977 | 103,750 | 17,541 | 157,658 | 404,398 | 497,441 | 58,145 | 692,745 |
| | 削減率 | -3.3% | 7.4% | 22.1% | -44.7% | 141.4% | -41.8% | 4.6% | -30.3% | -5.5% | 2.1% | -16.9% |
| | 削減目標 | -7.9% | -2.7% | 8.5% | -1.5% | -5.5% | -0.2% | -1.1% | -33.0% | -9.5% | -5.4% | -3.3% |
| 上下水道局 | H26 | 571 | 621,406 | 15,094 | 170 | 286 | — | — | 130 | 2,925 | 2,411 | 10,138 |
| | H25 | 611 | 625,028 | 18,846 | 117 | 385 | — | — | 80 | 2,121 | 2,372 | 5,916 |
| | H21 | 633 | 610,505 | 25,174 | — | 535 | — | — | — | 3,343 | 2,156 | 5,581 |
| | 削減率 | -9.8% | 1.8% | -40.0% | — | -46.5% | — | — | — | -12.5% | 11.8% | 81.7% |
| | 削減目標 | -5.0% | -5% | -5% | — | -2.5% | — | — | — | -2.5% | -5% | -6% |
| 消防 | H26 | 1,099 | 978,818 | 67,815 | 33,027 | 8,279 | 615 | 0 | — | 7,202 | 1,145 | 17,305 |
| | H25 | 1,144 | 975,606 | 65,485 | 36,469 | 8,548 | 560 | 0 | — | 7,795 | 1,220 | 22,507 |
| | H21 | 1,152 | 969,571 | 62,265 | 30,135 | 5,699 | 874 | 2,765 | — | 9,843 | 2,077 | 20,915 |
| | 削減率 | -4.6% | 1.0% | 8.9% | 9.6% | 45.3% | -29.6% | -100.0% | — | -26.8% | -44.9% | -17.3% |
| | 削減目標 | -6.1% | -7.2% | — | — | -3.5% | -2.7% | -2.7% | — | -3.5% | -3.7% | -2% |
| 合計 (H26) | 24,486 | 25,811,437 | 149,685 | 77,704 | 433,204 | 15,495 | 183,179 | 281,839 | 606,618 | 100,296 | 907,089 | |
| 合計 (H25) | 25,839 | 26,020,400 | 148,447 | 75,403 | 442,649 | 18,664 | 180,778 | 282,724 | 621,055 | 100,080 | 1,029,469 | |
| 合計 (H21) | 25,977 | 25,003,894 | 169,136 | 100,462 | 119,760 | 32,910 | 194,237 | 404,398 | 631,192 | 93,985 | 1,246,830 | |
| 削減率 | -5.7% | 3.2% | -11.5% | -22.7% | 261.7% | -52.9% | -5.7% | -30.3% | -3.9% | 6.7% | -27.2% | |

※削減目標の設定はH27としている。削減率は、基準年度のH21との比較となっている。

※本庁舎における電力量及び料金の削減状況

| | | | | |
|---------|-----|---------------|-------------|---|
| 本庁舎 | H26 | 2,354,840 kwh | ¥54,323,421 | 新庁舎 |
| | H25 | 2,306,530 kwh | ¥56,314,788 | 新庁舎 |
| | H21 | 2,502,863 kwh | ¥61,081,097 | 旧本庁舎、プレハブ庁舎、仮庁舎、銘苅庁舎、喜納ビル、やぎ第2ビル、区画整理課事務所 |
| 前年度との比較 | | 48,310 kwh | ¥-1,991,367 | |

3 総括

| | |
|----|---|
| 総括 | <p>平成26年度実績の総括として、全部局において温室効果ガスは基準年度及び前年度と比較すると削減できているが、目標値（平成27年度）である-10.6%と比べると約半分の-5.7%であった。特に温室効果ガス排出の主な原因となっている、電気使用量を全部署ともあと数%削減していかなければ、達成できないと考えている。</p> <p>エネルギー使用量を個別にみると、全体的には使用量の削減ができているが、その中で特に都市ガスの使用量が大幅に増えている。これは、新たに空調設備を設置する際、コストパフォーマンスに優れているヒートポンプ式（都市ガス使用）の空調設備が設置されているものと考え、目標設定時にここまで、都市ガス使用による予想値が明確ではなかったため大幅増となった。</p> <p>これからも引き続き、各項目における目標達成にできるだけ近付けていけるよう環境保全活動の推進に努めていきたい。</p> |
|----|---|

4 各部局の考察及び所見

| 部局名 | 考察及び所見 |
|-------|---|
| 市長部局 | <p>①電気について 電気使用量について、全体的には削減が実行できている。しかしながら、本庁舎については前年度より若干増加している。2度実施された選挙の期日前投票や臨時福祉給付金の受付のための会議室使用に伴うものと考えられる。</p> <p>②ガソリン及び軽油について ガソリンについては、h25.1月からのカーシェアリングにより基準年より減少しているが、前年度と比較するとほぼ横ばいとなっている。また、軽油については、クリーン推進課での実績増及び観光課での移動式車載大型ビジョンの導入により増加となった。</p> <p>③都市ガス及びLPガスについて 都市ガスの増加については、幼稚園の建替に伴う空調設備の都市ガス使用や文化財課の資料整理室の移転に伴い空調設備が都市ガス使用になったことなどが要因となっている。</p> <p>④その他の資源について 紙使用量については減少している。しかしながら、基準年度のH21と比較すると大幅増となっているが、これは中核市移行によるものと考えている。</p> |
| 教育委員会 | <p>①電気について 前年度比の減は、公民館・図書館における実績減。（基準年度比の増は、小中学校の全教室へ空調設備設置を進めているため）。</p> <p>②ガソリンについて 前年度比の増は、事務局、小中学校における公用車利用の増。（基準年度比の増は、H21年度からH23年度にかけて小中学校に公用車を順次配置）</p> <p>③軽油について 前年度比の減は、学校給食センターにおける実績減。（基準年度比の減はH25年度から配送業務（首里学校給食センター）を民間委託。※ディーゼル車）</p> <p>④都市ガス及びLPガスについて 都市ガスの前年度比の減は、小中学校における実績減。（基準年度比からの増は、小中学校における全館空調（都市ガス）整備に伴う増及び小規模調理場（銘苅・古蔵・天久・安謝）の新設に伴う増） LPガスの前年度比の減は、学校給食センターにおける実績減。（基準年度比からの減は那覇学校給食センターの廃止によるもの）</p> <p>⑤灯油及びA重油について 灯油の前年度比の増は、学校給食センターと小中学校における実績増。（基準年度比からの増は、小規模調理場（神原・城岳）の新設による増） A重油の前年度比の減は、小中学校における実績減。（基準年度比の減は、那覇学校給食センター廃止による減）</p> <p>⑥その他の資源について 水使用量については、小中学校における実績減。 紙使用量については、小中学校における実績増。 ごみ排出量については、小中学校における実績減。</p> |
| 上下水道局 | <p>①庁舎等電気使用量（増減率前年比：-0.6%） 照明の不要箇所の消灯、長時間席をはずす際はパソコンのシャットダウン、空調機のオートルーバー活用による室温調整、エレベーターを使用せず階段を使用したなど電力削減等を心掛けてきたことが減少につながった要因と考えます。 また、今年度は、課の課題事項として平成25年度及び平成26年度の実績を基に目標数値を設定したうえで、電力使用量削減に取り組み、目標達成のための進捗管理を行います。</p> <p>②ガソリン使用量（増減率前年比：-19.9%） 公共交通機関の利用促進及び公用車の乗り合い、アイドリングストップを心掛けたことにより、前年度に比べ減少しました。公用車が1台減ったことも要因と考えます。引き続き、公共交通機関の利用の促進、エコドライブを推進していきます。</p> <p>③軽油使用量（増減率前年比：45.9%） 応急給水用車輛を使用し荷物等を搬送したことで、走行距離が増え使用量が増加した要因と考えます。</p> <p>④都市ガス（増減率前年比：-25.7%） A棟のガス利用が減少したことが、使用量の減少になった要因と考えます。引き続き節約に努めていきます。</p> <p>⑤A重油使用量 古波蔵雨水ポンプ場（増減率前年比：62.5%） 前年度に比べ使用量が増加した要因として、台風と大潮が重なりポンプを運転したことで使用量が増加しました。</p> <p>⑥水道（上水道）使用量（増減率前年比：37.9%） 庁舎の再生水設備の故障（10月～11月・2月～3月）があり、再生水タンクへ緊急措置として上水を補給することが何度もあり、上水使用量の増加につながった要因と考えます。引き続き節水に努めていきます。</p> <p>⑦ごみ排出量（増減率前年比：71.4%） 庁舎において、再利用・分別・資源化を図ってきましたが、排出量が増加しています。増加の要因について検証し、ごみ発生の抑制、再利用、分別、資源化について努めていきます。</p> <p>⑧紙O A用紙（増減率前年比：1.6%） 裏紙の再利用等により削減に努めてきましたが増加しています。引き続き裏紙の再利用・ミスコピー防止等に努めていきます。</p> <p>上下水道局の総括 平成26年度は電気、ガソリン、都市ガスの使用量の削減ができました。 増加の項目については原因を究明し使用量の減少に努めるとともに、資源の再利用について職員へ呼びかけて、一人ひとりがエコに対する意識を高める必要があると思います。</p> |
| 消防 | <p>①電気使用量 電気使用量が前年度に比べ増加しているが、夜間訓練及び講堂を使用している講習会等が増えたためだと推測される。常に職員へは節電を呼び掛け、使用量が増えぬように努力する。</p> <p>②ガソリン・軽油使用量（削減対象外） 主な救急車がガソリンを燃料としていることから、平成25年度に比べ出動件数の増加に比例しガソリンの使用量も増加している。</p> <p>③都市ガス・LPガス使用量 LPガスに関して、前年度に比べ使用量が増加しているが、都市ガスにおいて職員の節約意識向上が表れ、減少したものと推測される。</p> <p>④水使用量 職員の節水意識の向上が表れ、減少したものと推測される。</p> <p>⑤ごみ排出量 職員の廃棄物減量化の意識が高まり、排出量が軽減したものと推測される。</p> <p>⑥紙使用量 職員の節水意識の向上が表れ、減少したものと推測される。</p> |